

2025年11月公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラスあざみ野教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1.利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援室のスペースを広く使えるように日頃から整理を行っている。 ・トレーニング内容によって机を片づけている。 ・必要なものはなるべく使わないものは捨てる等行っている。 ・活動内容によってはテーブルを移動するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を心掛け、適宜机を片づけるなどして対応していく。
	2	2.利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数が少し足らないと感じることがあるため、人員が少ない点です。 ・夏期休暇の際には就労移行支援の元指導員に応援を頼んだ。 ・管理者が考えて配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員は基準を満たしているため、事務作業の効率をあげたり、個別支援の目標を利用者にもスタッフにも負担内容配慮していく。
	3	3.生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	57.1%	42.9%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー対応ではない。 ・トイレはバリアフリーではない。 ・トイレが1つしかなく、男女使い分けができないことや衛生面からも増やせたらと感じる。（スペース的に難しいが） 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの増設の希望はあるが、賃貸物件なので難しい。
	4	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日清掃を行っている。 ・昨年末に壁紙を張り替え、トイレのドアや壁の凹みも修繕した。 ・毎日アルコール消毒や掃除機をかけるなどして、清潔で心地よく過ごせる空間にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。

業務改善	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	85.7%	14.3%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが個別に使用できる静養室を用意している。 ・そこは注意をする部屋ではないので、子どもが入っているときはスタッフはできるだけ入らず、本人がクールダウン部屋であることの認識を高めていく。 ・静養室の中のものを整理しなければならない。 ・面談室が1つしかないため、面談等あると保護者優先になり、使用できず、大部屋か事務所での個別支援となり、子どもの集中力等が欠け効果は下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静養室の片づけをする。また、定期的にプランケットなどをコインランドリーで洗濯する。
	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	71.4%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員は上長との振り返りなどあるが、短時間労働には特に振り返りなどない事は、如何なものかと想う。 ・管理者が周知してくれる。 ・トレーニングなどの振り返りを行っている。 ・定期的なヒヤリハット検討会議など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社のシステムが変わったこともあるが、現場の意見は管理者を通して社長へすべて報告されている。 ・業務日報の運用を始めた。
	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望や意見は、無理のない範囲で受け入れて実施している。 ・アンケート結果を見て改善している。 ・毎年保護者向けに評価表などによって、保護者の方の意向を把握する機会を設け、その結果をもとに業務改善に繋げている点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を見て、取り入れられるところからすでに取り入れている。
	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85.7%	14.3%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士が話をし、意見交換を行い、そこで出た意見を反映し業務改善に繋げている点。 ・相談しやすい環境。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい環境づくりに努め、業務改善は常に現在進行形であるようにする。

	9	9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	42.9%	42.9%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会主催の第三者評価の研修に参加し、思ってるよりハードルは高くないこと、減算になることなく第三者から見た評価を得られることは有意義なことである、と思ったので、頃合いを見て受けてもいい。 ・本部が入り評価されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部による定期的な監査は受け入れている。
	10	10.職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフが月替わりで勉強会を主催し、外部研修も講師を招いて全員受けられるようにしている。 ・様々な内容に関する研修を行い、職員の資質の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や外部講師を招いての研修は今後も継続していく。
	11	11.適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	85.7%	0.0%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムが公表されることをスタッフにも周知する。
	12	12.個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	71.4%	14.3%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望が優先されがちで、本人の意思や希望の反映がやや弱い。 ・保護者の声の方が取り入れる割合が多いように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思決定をないがしろにしないよう留意していく。
	13	13.放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、子ども達と関わっている児童発達管理責任者と指導員が会議を行い、サービス計画を練っている点。 ・職員全員で検討会議をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標を必ずしも3つ立てなくていいと感じるため、場合によっては1つに絞ることも考える。 ・達成できる目標であるかをより検討していく。
	14	14.放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標が抽象的で、指導員によって解釈や支援に差が出ないような支援目標をたてるようにしている。 ・検討会議で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標へのアプローチが変わらないよう、具体的な支援目標にし、それを共有する。

適切な支援の提供	15	15,子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85.7%	14.3%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントは児発管のみが行なっているが、情報共有はしている。 ・ハピテラ独自のアセスメントツールを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自ツールを使ったアセスメントの前に、念入りなモニタリングを行い、結果は共有する。
	16	16,放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定され	57.1%	14.3%	28.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・課題点は、地域支援・地域連携が少し不十分である点。 ・移行支援と地域連携はあまりできていないように感じる。 ・移行支援、地域連携等はまだ支援実施が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入し、地域方ディや訪問看護との連絡も取りあつている。地域の店舗を利用することで周囲活動にも繋げている。 ・移行支援については今後の課題。
	17	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・メインスタッフを中心に利用者に合わせて立案している。 ・メイン以外のスタッフもトレーニングの準備を手伝っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最善のトレーニングになるようチームで話し合っている。
	18	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週テーマが変わり内容も毎日変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日工夫して、同じトレーニングはない。
	19	19,子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が個別支援も利用している。 ・個別で対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援利用者がほとんどで、小集団でのトレーニングと組み合わせた支援を行っている。
	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせの記録を名簿とともに残している。 ・毎日行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前と就業前に必ず行っている。 ・業務日報で共有しやすくなった。
	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭での振り返りはあり、個別支援日誌には入力しているが、振り返りをまとめて記録はしていない。 ・毎日行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日報の運用をはじめ、振り返りや特記事項を共有するようにした。

	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなスタッフから見た意見を反映している。 ・毎日行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は徹底している。
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に多くの児童のモニタリング、検討会議を行うので、スタッフの負担も大きい。 ・保護者と行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的なモニタリングや個別支援計画の更新を目指す。
	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動の促しをして、友人同士で遊びに出かけたりすることができた。 ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて踏まえている。
	25	25,子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択出来るようにこちらからいくつか選択肢を用意して自己選択出来るような環境を設定している点。 ・一概に否定するのではなく、自分で選択できるような問いかけをしている。 ・子どもに聞くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別にアプローチ方法を変え、自己選択を尊重している。
	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ実施数が少ない。 ・管理者が出向いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管だけでなく、スタッフも同行するようにしていく。
	27	27,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会は毎回出席し、他事業所との接点が多い。 ・管理者が出向いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が毎回出席を続けることで、繋がりができ始めた。

関係機関や保護者との連携	28,学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	57.1%	0.0%	42.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に月の予定を送ってきてくれる保護者がいるが、他はないので、来年度から年間計画表のコピー提出の依頼をすることを検討する。 ・近年情報共有の機会が減っていると感じる。 ・学校に出向いている。増やす必要がある。 ・学校連携は少し不十分である点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との情報共有を促進するため、来年度は学校での面談を申し込んでもらうときに、スタッフの同席をあらかじめ許可をもらうようにする。
	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14.3%	14.3%	71.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、情報共有の機会が減っているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生に関しては、保育園や児発との情報共有を2月をめどに実施したい。
	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57.1%	14.3%	28.6%		<ul style="list-style-type: none"> ・求められた場合に情報提供できる心つもりでいる。
	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	71.4%	28.6%	0.0%		<ul style="list-style-type: none"> ・基幹センター主催の「家族支援研修」をスタッフ全員受講している。
	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	71.4%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との温度差がある。 ・合同でイベントを行っている。 ・回数は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他方デイとの交流だけでなく、自治会活動にも参加していきたい。
	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は管理者が自立支援協議会の運営にも関わることになった。
	34,日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での送迎がない為、基本、話す機会は少ない。迎えに来た保護者の方とはよく話せるが偏りが出る。 ・できるだけ今日できたことを伝えるようにしている。 ・毎日話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ伝えている。

保護者	35	35.家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71.4%	28.6%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 外部からのチラシは渡しているが、実際に事務所が企画した勉強会などはない。 今後検討していくべき。 ・家族支援の相談申し込みが毎月一定数ある。 ・ペアレントトレーニングの冊子を置いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングについての周知が少ないとと思われるの で、保護者会などを通じて周知で きると良い。
	36	36.運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・料金問い合わせに関しては、料金別紙を拡大コピーしたものに説明を書き込み、説明したことごある。 ・詳しく話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく説明し、掲示・備えおきもしている。
	37	37.放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思を確認できるようなといかけをする。 ・面談をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援についても毎日スタッフ間で意見交換や様子を共有しながら模索している。
	38	38、「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にアセスメントを行っている。 ・得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧なアセスメントを心掛ける。
	39	39.家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内相談支援を希望者に行っており、リピーターが多く定着出来ている。ただし、今後人数が増える場合には、担当者の増員や人数制限なども検討を視野に入れる。 ・毎月相談支援申込書を配布している。 ・面談している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援の申込書に相談内容の区分を選択してもらい、ある程度事前に準備できるように変える。また内容によって別のスタッフが担当することも採用していく。
	40	40.父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0.0%	71.4%	28.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・課題点は保護者会等が開催されていない点。 ・保護者会実施の場所と時間、スタッフ配置の課題。 ・今後そのような機会が増えるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は年間予定の中にあらかじめ保護者会を組み込んだ土曜日の過ごし方を入れる。

への説明責任等	41	41,こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・理不尽な要求には応えられないことを伝える。 ・すぐに対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理不尽なものでない限り、早急に対応するようにしていく。
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫している点は、今まであまり活用していないかったInstagramについて事業所内で運営を行っていくことを決め、取り組む準備をしている点。 ・放課後等デイサービスを探す保護者にとって、教室を知る大きなきっかけになっているため、より充実した活動が必要と感じる。 ・ハピテラ通信を毎月出している。ブログを出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタ投稿を始める。 ・ブログもタイムラグを少なく、定期的な投稿をしていく。 ・ハピテラ通信では義務化事項研修などの実施を写真を入れて報告することで、保護者への周知になるので、ハピテラ通信の紙面構成を再考する。
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・請求書類が全てペーパーレス化したため、配布物の間違いのリスクが減った。 ・外ではなくべく話さない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化はかなり有効。
	44	44,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を与えて選ぶようにすると、意思表示できる。 ・色々なツールを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者によって受け止め方に違いがあることを踏まえ、言葉の選択に気を付ける。
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	42.9%	42.9%	14.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースの問題もあり、実施したことがないが、自治会の代表の方には一度来ていただきたい。 ・教室の外に通信を設置する等開かれているが、今後、行事への招待等、機会があるといいと思う。 ・地域住民など地域に開かれた事業運営が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入したこと、自治会の方には一度訪問をお願いする。
	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・防災期間の際に地震や火事などの災害訓練などを行い、災害が起きた際に備えている。 ・定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋に1週間を通じて実施し、全利用者が訓練を受けられるようにしている。 ・消火訓練などは、春と秋に防災センターで体験するようにしてい

非常時等の対応	47	47.業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・定期的に避難訓練を行なっている。	・定期的な避難訓練や、水のローリングストックや非常時クラッckerなどの備蓄も行っている。
	48	48.事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		・毎年4月に緊急時連絡票を保護者に記入してもらい、アレルギー・てんかんの有無、服薬情報などは一覧にして共有している。
	49	49.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71.4%	0.0%	28.6%	・緊急連絡先ファイルを作成して、服薬からアレルギーまで把握できるようになった。 ・職員間でも周知している。	・食物アレルギーに関しては除去を徹底している。 ・糖尿病の児童に対する緊急時対応については、医師の指示書をもらっている。
	50	50.安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・行っている。	・安全計画をベースにすべての義務化研修・訓練があることの周知を進める。
	51	51.子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・面談を行っている。	・安全計画を備えおき、いつでも保護者が確認できるようにしてあり、そのこともハピテラ通信で知らせている。
	52	52.ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・2ヶ月に1度、ヒヤリハット検討会議を開き、傾向と分析、対策を話し合っている。 ・ヒヤリハットが起こった際に、報告書を作成し、職員全員に周知できるようにしている。	・ヒヤリハットの記録が少なくなないように、気づいたらすぐにメモしてあとで記録する習慣を身につける。
	53	53.虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・定期的に行っている。	・本部のweb研修含め、自己セルフチェックも年2回実施するなど適切に行っている。
	54	54.どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	・保護者に説明している。	・個別支援計画に記載し、万が一やむを得なかった場合には、保護者に適切に報告している。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。